

ひろば大代

NO.296

大代公民館

H16.3.23

ご卒業
おめでとうございます

夢の中の夢

八反田 中垣江梨

私の性格はねじ曲がっているでしょうから、多分親の思い通りにはならない事でしょう。

だから今から書く内容も親が望む「夢」ではなく、私の「夢の中の夢」つまり将来絶対なれないけど夢として持っておきたい内容です。(本人曰く、ですけどね/苦笑)

私は将来作家になりたいです。そう言いましても、大人向けではなく、中学生が読むような幻想、ファンタジー系のものです。今でもちよくちよくノートに書いているのですが、もしこれ

おめでとう!

三中卒業生 27名 内大代出身 5名

をどこかに送ったら賞がとれるのでは?などと明らかに無理な理想を抱いています。でも“もし”です。

ので、“もしかしたら”も有り得るのです。中学生の友達も「面白いね、続きが気になるよ。」などと言ってくれます。お世辞かもしれないませんが、私はその「夢の中の夢」に向かって行きたいです。

卒業

上飯谷 武田祐亮

僕は、今年大田三中を卒業します。クラスでは、いろいろな問題があったけど、楽しかったこともたくさんありました。いろいろあったけどすごくいい三年間でした。みんなで卒業できてうれしいです。高校に行ったら、今みたいないい友達をたくさん作れたらいいと思います。

私の将来の夢

柿田 岡田由香理



私の将来の夢は、介護福祉士の資格を取り、お年寄りの方のお世話をすることです。私は前からこういう仕事に興味があり、二年生の時の職場体験学習でピラ高山へ行き、たくさんのお年寄りの方々とふれあいました。

初めての体験だったのでとても緊張し、あまりお年寄りの方達と話すことさえ出来ませんでした。しかし、お年寄りの方達は親切で優しく接してくれました。私はとてもうれしかったです。将来は人のために何かしたいと、その時思うようになりました。

今まで身近に感じなかったことでも私はこの職場体験を通して自分のやりたい事がわかったような気がします。これからは自分の将来の目標に向かって頑張っていきたいです。

三年間を振り返って

下谷 幾田 光

僕はこの三年間地域の行事に参加した三年間だと思いました。

なかでも田植囃子は一番心に残っています。地域の人達が上手に教えてくれたのでうまく出来たと思います。

これから、僕は高校に行くけど、大代の伝統を大事に守っていき、地域の人達とより多く交流をして、地域の和を深めていってもらいたいです。

三年間本当に有難うございました。

中学校生活と思い出

川上 笠井誠二

僕は先日大田三中を卒業しました。

みんなと卒業出来たのも、先生方、保護者の方、地域の方の支えがあったからだと思います。本当に感謝しています。今までいろんな事をしてきました。でも、先生方は何度も許して下さいました。本当に優しい先生方でした。

三年間の思い出は野球です。昨年は

十八年ぶりの県大会に行けた事がうれしかったです。県大会に行けたのも自分達だけの力ではなく、周りの人の支えがあったからだと思います。本当に感謝しています。有難うございました。これからも、三中野球部を応援してあげて下さい。

僕は高校でも野球を続けて行くつもりです。夢は大きく甲子園、そしてプロ野球選手です。夢に向かって頑張ります！これからも応援して下さい。

音楽に乾杯！

八反田 三宅榮里子

物心ついた頃から、歌ったり、踊ったりすることが好きで、誰が教えた訳でもないのに小さな私が踊る姿に周りの大人達が喜ぶ笑顔が子供心に好きでした。

そんな私だから今日まで元気で生きてこられたのでしょう。音楽は私を支えてくれたひとつでもありますし、また私の人生には欠かせない必要なもの



3/14 大田高校吹奏楽部部員 (40名) による 大代でのふれあいコンサート開催

なのだとも感じています。

娘が高校時代には音楽とは関係ない活動をしていたので、大田高の吹奏楽のことはほとんど知らず、縁

がありませんでした。そんな中、夫の友人の家で一度だけ、指揮者の谷口先生とお会いしたことがありました。人生とは思議なもので、二度とお会いすることもないだろうと思っていた先生と十年振りに、川本のミュージカルで再会したのです。人との出会いは、一度きりと思っても、大事にしないといけないものです。一期一会とはよく言ったものです。

谷口先生がどれだけの人なのか、全く知りませんでした。プロデューサーの人、演出家の先生が絶賛されるのを聞いて、初めて先生の凄さを知りました。そしてそんな先生が、わが町大田市におられることを誇りに思ったものでした。

その後、松江でも同じミュージカル

があり、松江に吹奏楽団があるにもか
かわらず、谷口先生の吹奏楽団を起用
されたと聞いて、みんなで自分のこと
のように喜んだことを思い出します。

その谷口

先生の退任
ミニコンサ
ートが大代
小学校であ
ると聞き、
またまた驚
いてしま
いました。そ
の日は丁度
八反田の福
祉弁当の日
と重なって
いたので、



いつもならその後は公民館の掃除の予
定でした。それを延期してみんなで演
奏会に出かける事になり、そのはから
いも嬉しく思いました。

大田高校の吹奏楽部四十名によるふ
れあいコンサート。又とないチャンス
に大代小会場は、開演前から盛り上が
っていました。

谷口先生の「高山のように大きく胸
を張って演奏しよう」の言葉で、演奏
は「瓶陵」（校歌）に始まり、「ふる
さと」で締めくくられました。

演奏して下さった九曲は、馴染み深
いものばかりで、私達地域の人に近づ
くための選曲と演出は大変なご苦労が
あったと思います。

先生は部員の方のユーモアたっぷり
の名演技に、なごやかな中に音楽のす
ばらしさを教えて下さいました。

嬉しさと懐かしさに、終わっても尚、
感無量。本当に幸せな時間でした。

わざわざおいで下さいました大石校
長先生、谷口先生、部員の皆様、そし
てお世話をされた皆様に心から感謝申
し上げます。ありがとうございます。

大江高山登山の感動

山口町 影山 満

平成十五年十一月に大代公民館主催
による大江高山の登山が、四十人の参
加者（うち石見銀山農協の退職者が十
人）により開催された。

私は、この登山に参加させて頂き、

紅葉した大江高山八百メートルを登
り終える事が出来たことを喜んでいま
す。出発時には、地元の皆さんにより
受付などの準備をされ、参加者の前で、
大代公民館長横手様より登山の趣旨と
注意の挨拶があった。

この度の登山会開催については、半
月前より地元自治会の方によって、出
発点から頂上までの急な登山道を、草
刈して準備されたとのこ
とを聞き感謝しながら登
りました。

私は、心臓と足に障害
があり、「私の身体で登
る事が出来るだろう
か？」と不安でありま
した。登山は厳しかろうと

思い、障害対策として水を入れた水筒
と杖を持参して使用しました。急な登
り坂で捕まえるものが無いため、杖を
使用しながら垂らしてあるロープにつ
かまって、一歩一歩と登りました。

後ろの集団の方から「急で厳しいな」
「頑張れよ」「大丈夫か」と誰が言う
のか、励ます甲高い声が聞こえてくる。
集団での登山は初めてであり「遅れて

ミスミソウ



迷惑を掛けてはいけない」と思いながら脇目もせず集団の流れに沿って、所定の休憩地点や頂上についた時「やっと着いたか」と思い、山頂の空気は美味しい。

以前に三瓶山に登った時は、疲れると自由に休み、脇見をしつつ周囲の山々を見て登山したが、今回は集団登山で、大江高山のギフチョウや草木の名称を見る余裕はありませんでした。休憩地点や頂上に到達した時は、周囲の山頂の峰を美しく見ることが出来、登り終えた喜びを噛みしめて疲れがとれた一時でした。

大江高山の頂上より下りる時に、感動したことがあります。下り道は、急で勢いがつき、止まらず滑ることがあり、足に負担がかかるので用心しながら踏みしめて下りることにしました。

下山途中、子供連れの集団に追いつきました。四歳の男子はおばあさん(下市今田文子さん)に連れられて登ったようである。「大人でも大変な登山道を四歳の男の子が、ここまで良く登り終えた事か」と感心しました。

男の子は、急な下り坂を転げまいと

草につかまり、時には転げて道を外れて笹の中で止まって這い上がり必死に下りる姿を見た。おばあさんは「危ない、頑張れ」と自力で下りるよう孫へ激励の言葉をかけられていた。大人でも下りるのに大変なのにこの子供はどこに力があるのだろうか。

危険

と見てか、体格の良
い男性
(四十
歳位)
は、子
供を抱
いてゆ
つくり
と急な
下り坂



2月の寒波で雪化粧の大江高山

を下りて平坦な道になると子供をおばあさんに渡した。おばあさんは「すみません、ありがとうございます。」と男性にお礼を言った。

男の子はおばあさんの背中におんぶされて下山した。子供として体力の限

界まで精一杯登山して疲れたのか、おばあさんの背中の温もりで健やかに眠りについた。

この体験を活かして将来「逞しく育ってほしい」と願う。自分も「手助けをすれば」と思うが右足に激痛があり手伝う事が出来ず力の無さを感じ、大人として自分の体力の弱さに気づきました。お互いに身体についていたわり、思いやりの気持ちに触れる事が出来て良い登山であったと思う。

登山を終えて出発点に到着すると、大代町の有志の皆様が心をこめて作られた「手打ちそば」が集会所の机の上にありました。厳しい登山で体力を消耗して腹もすいていたので美味しく頂きました。

この「手打ちそば」は大代の有志の皆様が、転作水田一町歩に種子をまき収穫して、そば粉に加工され、今日の登山者へ「お疲れでしょう食べて下さい」と温かくもてなしをされた。

聞くところによると、地域活性化として、東京の皆さんに「手打ちそば」を食べて頂いた事もある。

名所の大江高山への思いは多大なも

のがあり、地元の皆さんの心が一つになつて日数と手間を掛ながら努力されている姿を見て「これこそ村おこしだ」と心を打たれました。登山に参加させて頂き、疲れが喜びに変わった思いがします。

現代はテレビの時代であり、人間の温もりが薄れているように思う。人とのふれあいや話し合いによって、自分が気付かなかつた事に気付き、又自分の愚かさを悟ることがある。

この度の登山は、私の体力の限界を知ると共に、皆さんとのふれあいの温もりを感じました。(喜)

秋の高山登山

イズモコバイモの消息

静間町 月森章子

拝啓、今日はとても二月とは思えない暖かな日です。

昨年十一月三日に大江高山に登り、大変お世話になりました。私はその時「イズモコバイモ」の鉢を頂いた一人です。鉢は我が家の一等地で南側の日当たりの良い所に置き、時々水やりを

お便りから

しておりました。

一週間程前にかわいい芽が出ました。赤みがかつた濃い緑です。槍のようだった芽が二つに分かれ二センチ位になりました。楽しみにしています。

(2月22日)



※ 他にも3件、芽が出たのでうれしくて・・・とお電話を頂きました。

※ 又、3月20日待ち望んだかわいい花が咲いていますと、連絡を頂きました。大切にして下さい。

さくらの花に浮かぶ

大江高山をつくろう

高山会会長 横手新治郎

バイパス開通の記念として植樹した桜の苗木10本を引きだたせるために、桜の普及団体「日本さくらの会」から、苗木200本の提供を受けて、土手やバイパスの沿道に植樹しました。

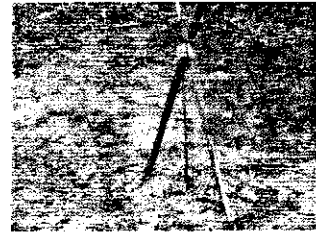
2月29日は少々肌寒さを感じる天気でしたが、自治会長をはじめ、自治会から2、3名の参加をいただいて、8メートル間隔で、約30cmの深さの穴を掘り、有機肥料を混ぜて底に入れ、丁寧に祈りを込めながら1本1本植えた後、2本の竹で支柱を立てしつかりと根づくように固定しました。

有機成分の無いまさ土でし



たので、成育が多少心配されますが、大代町民の熱意と願いをかなえ、数年先には満開の桜の花を眺めながら、思ひ出話や将来の夢を語り合いたいものと思えます。パイパスからの桜の花に浮かぶ大江高山は素晴らしい眺めとなることでしょう。

今後は、大代町民の貴重な財産として、草刈など周辺の手入れをし、町の活性化とともに桜の成長を見守っていきましょう。



第2回 飛んでいるギフチョウを見る高山登山

大代公民館

昨年の4月12日に実施しました第1回春の高山登山は、あいにくの雨で、ギフチョウを観察する事は出来ませんでした。可憐な白い花をつけたミスミソウやイズモコバイモ、エンレイソウ、カタバミなど、たくさん山野草を観察することができました。今年も4月11日(日)に、2回目の

ギフチョウを見る登山を実施します。町民の皆さんも多数ご参加を頂き、他町の皆さんとの交流を深める中で、大江高山の自然を大切に守る活動の輪を広げたいと思えます。

すでに町外から、たくさんの間合せが入っておりますので、多数の登山愛好家や、自然を守りたい活動家の皆さんの参加が期待されます。

今年こそは、天気にも恵まれ、飛んでいるギフチョウを観察できますよう祈りながらお知らせ致します。

日時 4月11日(日) 8時30分

場所 山田自治会館前に集合

講演 サヒメル三瓶自然館学芸員

井上雅仁氏

大田自然を守る会代表・

大田蝶遊会代表 伊藤宏氏

※講演終了後登山開始

羽化したギフチョウ

昨年から、大代小学校で飼育観察を続けていた「春の女神」とも呼ばれるギフチョウが、3月15日に羽化しました。

4月11日の高山登山にギフチョウの乱舞が見られるのが楽しみです。



小学校で羽化したギフチョウ

* 4月行事予定 *

▼9日(金) 幼・小・中学校入学式

▼11日(日) 大江高山春の登山

山田集会所前午前八時半集合

▼11日(日) 福祉弁当

▼20日(火) さくらんぼ教室

▼23日(金) 連合自治会